

2026年 (令和8年) 3月12日 (第三種郵便物認可) 昭和23年4月15日 毎月3回発行 (第1、第2、第3木曜日)

今号の特集 ⑥～⑦面 ⑧面 ⑨面 ①ふりかけ・お茶漬特集 ②乾物特集 ③だしの素特集 中部飲食料新聞社ホームページ http://chuin.net/ (業界情報発信中)



第3573号 発行所 中部飲食料新聞社 名古屋市中村区名駅5-18-9 電話(052)571-7116代表 FAX(052)571-7118 東京局 東京都中央区日本橋横山町1-4-203 電話(03)5614-7531 FAX(03)5614-7532

大正から 食を伝えて100有余年 中部飲食料新聞

国分グループ

新長計スタート

食の価値循環プラットフォーム掲げる



国分グループ本社は、25年度決算報告会を2月26日に東京本社で開催。「25年度経営計画」のなか、「第12次長期経営計画」及び「26年度経営方針」を発表した。

新たにスタートした26年度の国分グループの「第12次長期経営計画」は「食の価値循環プラットフォームフォーラム」より地域へ、さらに世界へ」を大きなビジョンに掲げる。長年培ってきた「ヒット」の力とデジタルの革新力を融合し、未来に向かい食の価値創造を共創するリーダートとして、より地域に根差し、さらに世界へと飛躍するとしている。国分社長は「卸売業には単なる効率的な物流

アサヒビールは、「2026年事業方針説明会」を2月25日に都内で行い、松山一雄社長、古澤毅常務執行役員マーケティング本部長が説明した。同社は昨年、サイバー攻撃によるシステム障害を受けた。システム障害前の1～9月累計実績はビール類が2%減、洋酒が6%増、RTDが19%増、アルコールイス

「再始動」で反転攻勢へ 「ビール強化」「スマドリ進化」軸に アサヒビールは、「2026年事業方針説明会」を2月25日に都内で行い、松山一雄社長、古澤毅常務執行役員マーケティング本部長が説明した。同社は昨年、サイバー攻撃によるシステム障害を受けた。システム障害前の1～9月累計実績はビール類が2%減、洋酒が6%増、RTDが19%増、アルコールイス



敗を恐れず新たな価値を創出する。高付加価値人材の育成、高付加価値PBの開発やデータに基づくマーケティング支援、不採算事業の撲滅や生産性向上などにより各種コスト増を上回る利益成長・最適な事業体制の確立などを基本方針に掲げた。「地域に深く根ざし、世界を視野に入れ、何より『食』を通じ社会に貢献する使命を果たすべく、『食の価値循環プラットフォームフォーラム』という大

益を達成。売上高、利益とも過去最高を更新した。国分勤兵衛会長は「25年度は第11次長期経営計画最終年度の総仕上げの年として『もう一度ゼロベース、これからを考

「愛知県ありがとう」 CP売上二部を寄贈 マックスバリュ東海は、「愛知県ありがとう」キャンペーンの売上の一部の二二五万円を愛知県に贈呈した。

ShinSei 食卓に、健康の種を植える 人も地球も、健康に生き続けられる食のあり方を追求し、すべての人が笑顔で暮らせる社会をつくる。 環境への取り組み 社会への取り組み 経済への取り組み